

これまでの経験やスキルを学校に！

— まずは、こちらをお読みください —

- ① 全体を示す「募集案内」と各校種別の詳細を示した「要項」があります。
応募希望の方は、静岡県教育委員会ホームページから「募集案内」を入手するとともに、受験する校種の「要項」をダウンロードしてください。
(<https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/school/kyoiku>)
- ② 出願方法は、校種（小中・高校・特支・養教・栄教）ごとの「電子申請」です。
原則、出願は電子申請（<https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/>）です。加点申請や特別選考等に係る証明書類等は、郵送となります。受験する校種の「要項」で確認してください。

《実施日》

校 種	第1次選考試験	第2次選考試験
小・中学校教員 養護教員・栄養教員	5 / 11(土)	6 / 29(土) ~ 30(日)
高等学校教員	5 / 11(土) ~ 12(日)	
特別支援学校教員		

※予備日 第1次選考試験 5/18(土)

第2次選考試験 7/6(土)、7(日)

《昨年度からの主な変更点等》

「しずおか未来創造枠（自己推薦枠）」の新設（小学校及び特別支援学校小学部）

静岡県に愛着があり、未来を担う児童生徒等の育成に対する熱意と、ビジョンを具現化していく力量を持った者を対象に、「しずおか未来創造枠」としての選考を行います。

一般選考及び特別選考との併願が可能です。「大学院修士課程の特例」を希望する場合、「しずおか未来創造枠」への出願はできません。

全校種共通

- ◎「教職経験者を対象とした選考」について、教諭としての実務経験に「育児休業期間」を加算してよいこととしました。
- ◎適性検査は、第2次選考試験受験者に対して指定期間に Web 上で実施します。

小・中学校教員、養護教員、栄養教員

- ◎第1次選考試験（筆記試験）は、全教科マークシート方式で実施します。
※「課題作文」を除く。
- ◎教科専門試験における加点申請の条件として、以下の2つを加えます。
 - ・小学校教員受験者で、中学校教諭普通免許状（美術、技術、家庭）を取得（または取得見込）の場合、5点を加点します。
 - ・小学校教員・中学校教員・養護教員受験者で、「公認心理師」又は「臨床心理士」の資格を取得している場合、5点を加点します。

特別支援学校教員

- ◎第1次選考試験（筆記試験）は、全教科マークシート方式で実施します。
※「課題作文」を除く。
- ◎「専門職経験を有する者を対象とした選考（自立活動）」を実施します。
※対象資格を拡大します。
 - ・受験資格 看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の資格を有し、各資格に基づく勤務経験が3年以上ある者（見込み含む）
- ◎教科専門試験における加点申請の条件として、以下の2つを加えます。
 - ・ポルトガル語又はスペイン語に関する資格等を所有している場合、5点を加点します。
 - ・「公認心理師」又は「臨床心理士」の資格を取得している場合、5点を加点します。

高等学校教員

- ◎「理科（地学）」「芸術（美術）」を実施します。
- ◎「水産（総合）」にかえて「水産（栽培）」を実施します。
- ◎「体育」の実技において共通種目「水泳」は実施しません。
- ◎教科専門試験における加点申請の条件として、以下を加えます。
 - ・「ポルトガル語又はスペイン語に関する資格等の所有者」に対して3点を加点します。
- ◎高等学校スペシャリスト選考「民間企業等での勤務経験を有する者を対象とした選考」について、以下のとおり要件等を拡大します。
 - ・志願する教科 「工業」に加えて「農業」を追加します。
 - ・申請要件 工業もしくは農業に関する「修士の学位を取得し、かつ3年以上の民間企業等での勤務経験者」に加え、「学士の学位を取得し、かつ勤務経験が5年以上の者」も対象に追加します。

継続実施する「特別選考・特色ある募集」

- ◆ 教職経験者を対象とした選考（全校種）
- ◆ 障害者を対象とした選考（全校種）【一般選考とは別枠】
- ◆ 国際貢献活動経験者を対象とした選考（全校種）
- ◆ 高等学校スペシャリスト選考
 - ・ 英語のネイティブスピーカー
 - ・ 博士号を取得した者「理科（物理、化学、生物、地学）」
 - ・ 民間企業等での勤務経験を有する者「工業」「農業」
 - ・ 医療機関等での勤務経験を有する者「福祉」
 - ※「福祉」は、昨年度同様、高等学校スペシャリスト選考のみ実施
 - ・ 商船等での勤務経験を有する者「水産（機関）」
- ◆ 専門職経験を有する者を対象とした選考（特別支援学校教員）
- ◆ 民間企業等での勤務経験（3年以上）を有する者を対象とした選考（中学校教員「美術」「技術」「家庭」）
- ◆ 大学院修士課程の特例（全校種）